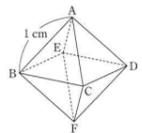


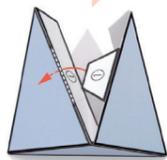
入試への対応

正多面体の体積

④ 下の図のように、点A、B、C、D、E、Fを頂点とする1辺の長さが1cmの正八面体がある。
 このとき、次の①、②の問いに答えなさい。
 ① 線分BDの長さを求めなさい。
 ② 正八面体の体積を求めなさい。



はさみもテープも不要です！タブを切り込みに入れて組み立てることができます！



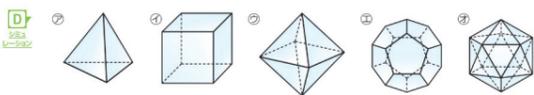
千葉県 公立高校入試
 2023年 大問1(4)

観察・操作を重視した正多面体の学習

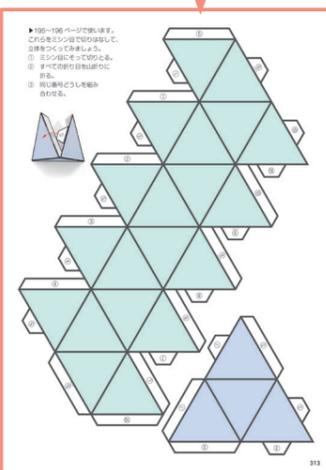
正多面体などの空間図形の見方を養うには、模型を実際に手に取って観察する経験が大切です。そこで、正多面体の学習を本文のQで扱い、巻末付録で正多面体の模型を作って、観察する活動が行えるようにしています。



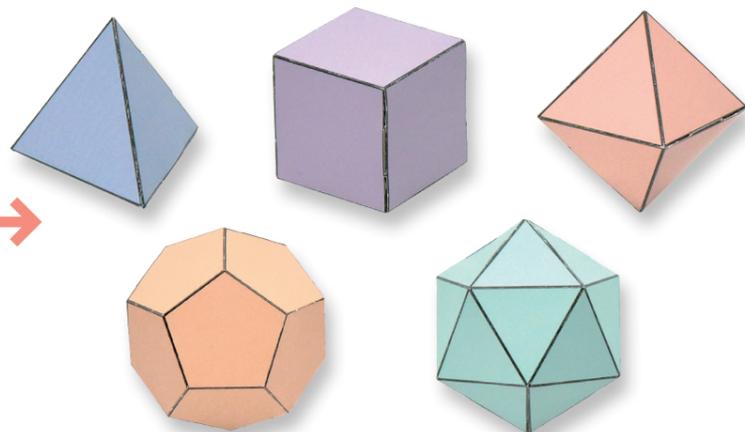
Q 調べてみよう
 313～318ページの紙を使って、下の⑦～⑩の立体の模型を作り、どのような特徴があるか調べてみましょう。



▲1年 p.195



▲1年巻末付録 p.313



D ICTでつながる



シミュレーション

実物では前の面に隠れて見えない反対側の辺や面の様子を確認することができます。紙とデジタル双方のよさを組み合わせて活用することで、空間図形の見方を深めることができます。



正多面体を観察しよう

検討の観点と内容の特色



目次

(1) 教育課程および学習指導要領への対応	2. 内容の組織・配列 …… p.64
1. 目標と内容の取扱い …… p.57	3. 分量 …… p.64
2. 指導上の配慮 …… p.61	4. 素材 …… p.65
(2) 教科書の構成上の配慮と工夫	5. 用語・記号・記述 …… p.65
1. 内容の程度 …… p.63	6. 挿絵・写真・図 …… p.65
	7. すべての生徒が使いやすい紙面への配慮 …… p.66

(1) 教育課程および学習指導要領への対応



1. 目標と内容の取扱い

観点	特色	具体例	該当ページ
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成できるよう配慮されているか。	主体的・対話的で深い学びの視点から、一つの学習活動を吟味し、質の高い数学的活動が行えるようにしています。	「章とびら」では、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面を1コマのイラストと「問いかけ」で提示し、主体的に学習に取り組めるようにしています。「問いかけ」では、生徒の自然な疑問から解決の必要感を持たせて、1節の導入の活動につながるようにしています。	1年 p.63、p.117 2年 p.35、p.161 3年 p.93、p.167 など
		「節の導入」では、「問題(Q)」と「補助発問(①、②、…)」を手がかりに、生徒が主体的に考えたり調べたりする問題解決的な学習を通して、新たな知識や技能を身につけることができるよう、問題の提示や発問を吟味しています。	1年 p.64-65、p.158-159 2年 p.36-37、p.96-97 3年 p.42-43、p.188-189 など
		「深い学び」では、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を紙面化しています。「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程に沿って、問題の提示や発問を吟味しています。特に「深める」の過程では、活用・意味づけ、統合的・発展的に考察することを促す発問を設定し、さらに学びを深めることができます。	1年 p.83-84、p.149-150 2年 p.27-28、p.107-109 3年 p.85-86、p.203-204 など
		1年0章「算数から数学へ」を設定し、中学校数学の授業開きで、小中接続を意識した数学的活動を通して、発表の仕方や聞き方などの学び方を学び、以後の学習を生徒が主体的に取り組めるようにしています。	1年 p.11-13

検討の観点と内容の特色

1. 目標と内容の取扱い

観点	特色	具体例	該当ページ
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成できるよう配慮されているか。	問題解決的な学習を重視し、その過程で生徒が自ら数学的な見方・考え方を働かせ、振り返って意識したりするための工夫を随所に取り入れています。	「虫がねマーク」の吹き出しでは、問題発見・解決の過程で生徒が自ら 数学的な見方・考え方を働かせたり、振り返って意識したりすることを促します 。吹き出し形式にすることで、学習場面に即した具体的な言葉で、生徒が主体的に考えられるようにしています。	1年 p.98、p.175 2年 p.51、p.131 3年 p.30、p.221 など
		「学びをふり返ろう」では、生徒が 自ら働かせた数学的な見方・考え方を意識し、そのよさがわかるよう内容のまとまりごとに学習を振り返る場面を設けています 。また、学習を終えたあとに 青色の吹き出し を振り返ることで、働かせた見方・考え方を考えるきっかけとなるようにしています。	1年 p.147、p.245 2年 p.53、p.100 3年 p.121、p.177 など
		「深い学び」では、「大切にしたい見方・考え方」を示し、 問題解決で生徒が働かせた数学的な見方・考え方を振り返り、そのよさを自覚化できるようにしています 。「ふり返る」の過程では、「大切にしたい見方・考え方」を 焦点化するための発問を設定 しています。	1年 p.84、p.150 2年 p.28、p.109 3年 p.86、p.204 など
		「章の問題A」では、その章で働かせた見方・考え方を 振り返ってレポートにまとめる「章のふり返りレポート」を設定し、「主体的に学習に取り組む態度」などの評価の参考にできるようにしています 。	1年 p.88、p.154 2年 p.92、p.122 3年 p.124、p.222 など
		巻末に、章の学習後にその章で働かせた見方・考え方を振り返る 「数学の目でふり返ろう」を設定し 、同じ数学的な見方・考え方を前の学習や先の学習でも働かせていることを、具体例を通して確認できるようにしています。	1年 p.250-255 2年 p.194-201 3年 p.226-231
② 基礎的な概念や原理・法則などの理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身につけられるよう配慮されているか。	日常生活や社会の問題を解決したり、既習をもとにして、数量や図形についての性質などを見いだしたりする数学的活動を通して、深い知識や活用できる技能を身につけられるようにしています。	本文では、内容のまとまりごとに「学習課題」と「問題(Q)」を設定し、「 めあて 」や「 課題 」を明確にした授業づくりの参考になるようにしています。生徒が見通しを持って学習に取り組み、その学習を振り返ることで知識・技能の定着を図ることができます。	1年 p.54-55、p.160-161 2年 p.25-26、p.167-168 3年 p.107-109、p.139-140 など
		「節の導入」では、 作業的な活動を取り入れ、生徒が意欲的に取り組めるようにしています 。また、 活動を振り返って生じた疑問(?)が、本文の学習につながる ようにしています。	1年 p.20-21、p.92-93 2年 p.58-59、p.126-127 3年 p.94-95、p.168-169 など
		「問題(Q)」では、「補助発問(①、②、...)」を手がかりに、 日常生活や社会の問題を解決したり、既習をもとにして、数量や図形についての性質などを見いだしたりする数学的活動を通して、既習の知識と関連つけた深い知識や、様々な場面で活用できる技能を身につけられるようにしています 。	1年 p.96、p.142-143 2年 p.113、p.143-144 3年 p.57、p.100-101 など
		「吹き出し」や「補助発問(①、②、...)」には、既習の内容との関連を示唆し、 統合的に考えるきっかけとなる「同じように考えると」や、学習した事柄を発展的に考えて、さらに学びを深められる「それなら」 を示し、学びのつながりを生徒が自覚できるようにしました。	1年 p.84、p.240 2年 p.62、p.100 3年 p.99、p.157 など
		本文の「問」では、必ず解けるようになりたい問題に「♡マーク」をつけたり、側注リンクから巻末「補充の問題」に取り組めるようにしたりして、 生徒一人一人の特性に合わせた指導の個別化にも対応しました 。 「クイックチェック」では、 学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまずきを解消できるようにしています 。	1年 p.32、p.36 2年 p.16、p.21 3年 p.17、p.21 など
基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう、個人差にも対応できるきめ細やかな問題構成にしています。	節末の「基本の問題」では、 節ごとに基礎的・基本的な知識や技能の確認、習得が図れるようにし 、生徒自身が自らの課題を認識し、つまずきを解消できるようにしています。	1年 p.28、p.56 2年 p.22、p.48 3年 p.24、p.50 など	
	巻末の「補充の問題」では、本文の「問」に対応した豊富な問題(1年383題/2年227題/3年358題)を用意し、 繰り返し練習することで基礎的・基本的な知識や技能を習得できるようにしています 。また、 やや難しい問題に★をつけ、個人差にも対応 しています。	1年 p.266-280 2年 p.217-228 3年 p.246-260 など	

観点	特色	具体例	該当ページ
② 基礎的な概念や原理・法則などの理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身につけられるよう配慮されているか。	生徒のつまずきに対応した指導が適切に行えるよう、学力調査等で課題が見られる内容の取り扱いを丁寧にしたリ、学び直しの機会を充実したりしています。	全国学力調査や各自治体などの 学力調査のエビデンスに基づき、課題が見られる内容の取り扱いを丁寧にしています 。また、東京書籍が実施している標準学力調査の分析結果も踏まえ、生徒の実態に合わせた内容を取り扱うようにしています。 (取り組み例) ●1年「比例と反比例」では、表から式、グラフから式を求めることに課題が見られるため、表・式・グラフを相互に関係づけて理解する内容を扱っています。 ●1年「空間図形」では、錐体の体積の求め方の理解に課題があるため、QRコンテンツ「動画」で、水を入れる実験で確認したり、巻末付録で角錐の模型を組み立てて体積の求め方を考察したりするなど、観察・操作を取り入れ、実感を伴って理解できるようにしています。 ●2年「整数の性質の文字を用いた説明」に課題が見られるため、その素地となる「文字を使った倍数や連続する整数の表し方」を1年で扱い、スパイラルな学習が行えるようにしています。 ●2年「1次関数」では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することに課題が見られるため、事象を1次関数とみなし、表やグラフを用いて値を予想する方法を説明する活動を扱っています。	1年 p.266-280 2年 p.217-228 3年 p.246-260 など
		「まちがい例」では、全国学力調査や東京書籍が実施している標準学力調査などで見られる 典型的な誤答例を取り上げ、誤りを指摘し正しく直す ことで、同じ誤りを繰り返さないようにしています。	1年 p.51、p.97 2年 p.20、p.21 3年 p.22、p.82 など
		側注の「ちょっと確認」では、既習事項のうち、 つまずきの多い内容の確認ができるようにしています 。また、QRコンテンツ「 ちょっと確認 」で、詳しい解説や内容に対応したフラッシュカードを用意し、学び直しの機会を設けています。	1年 p.42、p.72 2年 p.30、p.182 3年 p.136、p.202 など
③ 事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養えるよう配慮されているか。	「数学の問題発見・解決の過程」を重視した数学的活動を各章に設けるとともに、章末では豊富な「活用問題」を取り上げるなど、日々の学習を通して思考力・判断力・表現力を養い、伸ばすことができるようにしています。	1年、2年の巻末に「 学びのベース 」を設け、 小学校の学習事項のうち、分数や割合、速さなどのつまずきが多い内容や、1年間の学習事項のうち、重要な公式や性質を具体的な例で確認・練習できるようにしています 。3年巻末の「 学びのマップ 」では、中学校3年間で学習した内容を共通する 数学的な見方・考え方に着目して関連を見だし、振り返ることができるようにしています 。	1年 p.256-262 2年 p.202-213 3年 p.232-245
		「深い学び」では、「 数学の問題発見・解決の過程 」に沿って 問題の提示や発問を吟味し 、生徒が見方・考え方を働かせた数学的活動に取り組めるようにしています。「深い学び」はほぼ全ての章に設け、 日々の学習を通して思考力・表現力・判断力を養うことができます 。 (「数学の問題発見・解決の過程」の重視) ●側注に問題解決の過程「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」を示し、 生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようにしています 。 ●日常生活や社会の事象から問題を見だし解決する活動では、「 数学化 」や「 活用・意味づけ 」にあたる 発問を設定し 、見方・考え方が働く深い学びが実現できるようにしています。 ●数学の事象から問題を見だし解決する活動では、「 統合・発展 」にあたる 発問を設定し 、見方・考え方が働く深い学びが実現できるようにしています。 (「主体的・対話的で深い学び」の実現) ●「深い学び」では、解決の必要感のある問題を提示し「 主体的な学び 」を促すとともに、多様な考えを説明し伝え合う「 対話的な学び 」の場面を設定し、見方・考え方が働く「 深い学び 」を実現できるよう、問題の提示や発問を吟味しています。	(日常生活や社会の事象) 1年 p.83-84、p.149-150 2年 p.49-50、p.83-84 3年 p.85-86、p.203-204 など (数学の事象) 1年 p.57-58、p.83-84 2年 p.107-109、p.151-152 3年 p.33-34、p.149-150 など (主体的・対話的で深い学び) 1年 p.149-150 2年 p.107-109 など
③ 事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養えるよう配慮されているか。	「数学の問題発見・解決の過程」を重視した数学的活動を各章に設けるとともに、章末では豊富な「活用問題」を取り上げるなど、日々の学習を通して思考力・判断力・表現力を養い、伸ばすことができるようにしています。	「章の問題B」では、 全国学力調査に対応した「活用問題」を豊富に取り上げました (1年13題、2年11題、3年11題)。「 事柄や事実」「方法や手順」「理由 」を説明する 記述式問題に取り組めるようにし 、思考力・判断力・表現力を伸ばせるようにしています。	(事柄や事実の説明) 1年 p.156、2年 p.34、 3年 p.40、p.223 など (方法や手順の説明) 1年 p.90、2年 p.160、 3年 p.126 など (理由の説明) 1年 p.247、2年 p.123、 3年 p.186 など

検討の観点と内容の特色

1. 目標と内容の取扱い

観点	特色	具体例	該当ページ
④ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度や問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養えるよう配慮されているか。	数学を生活や学習に活用する学習を重視し、生徒が数学の有用性を実感して、学習への意欲が高まるようにしています。また、学習を振り返る機会を随所に設け、数学的な見方・考え方のよさを実感するとともに、自らの取り組みを評価・改善しようとする態度が養えるようにしています。	「章とびら」や「節の導入」「深い学び」などでは、生徒が 日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする活動を扱い、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにしています。 また、該当箇所には、MATH CONNECT「身のまわりとつながる」のアイコンを示し、数学の有用性を意識できるようにしています。	1年 p.83-84、p.91-93 2年 p.35-37、p.49-50 3年 p.127-129、p.203-204 など
		「数学×仕事」では、 数学が社会で活用されている例を紹介しています。 仕事のなかで数学を活用している人の思いやその仕事の内容に触れ、社会における数学の意義や価値を実感できるようにしています。	1年 p.112-113、p.186-187 2年 p.90-91、p.156-157、p.188-189 3年 p.122-123、p.162-163
		「学びをふり返ろう」や「大切にしたい見方・考え方」「数学の目でふり返ろう」など、 学習を振り返る機会を随所に設け、数学的な見方・考え方を働かせることのよさを実感し、生活や学習に積極的に活用しようとする態度が養えるようにしています。	1年 p.123、p.150、p.250-255 2年 p.100、p.109、p.194-201 3年 p.84、p.86、p.226-231 など
⑤ 学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力などの資質・能力が育成できるよう配慮されているか。	考えを説明し伝え合う活動、ノートづくりやレポート作成などの書く活動を充実させ、言語能力を高められるようにしています。	巻頭の「数学マイノート」では、 自分の考えだけでなく、他者の考え、問題解決の過程での気づきや振り返りを書く習慣が身につくように、学習を記録する際に大切にしたい観点を示しています。	1年 p.7 2年 p.7 3年 p.7
		巻末の「レポートにまとめよう」では、 レポートのまとめ方やレポートを書くときの注意点を理解し、レポートにまとめる活動を通して、論述・要約する能力が高まるようにしています。 3年巻末「レポートにまとめてスライドで発表しよう」では、 スライドのつくり方や発表のポイントを示し、プレゼンテーション力が高まるようにしています。	1年 p.282-283 2年 p.230-231 3年 p.262-263
		〈取り組み例〉1年3章では、リンゴの収穫体験についてわかったことから 必要な情報を取捨選択したり、プランターの並べ方のような非連続型テキストから情報を読み取ったりする問題を扱い、PISA型読解力に対応できるようにしています。 〈取り組み例〉2年7章では、 スーパーマーケットの牛乳の実際の販売データ を用いて、データを層別し、箱ひげ図を用いて分析する活動を通して、 目的に応じてデータを適切に分析する能力を高められるようにしています。	1年 p.92、p.103 2年 p.179-192 など
「数学の問題発見・解決の過程」を重視した数学的活動を各章に設け、生徒が主体的に取り組むことで、問題発見・解決能力を高められるようにしています。	「深い学び」では、「 数学の問題発見・解決の過程 」を重視した 数学的活動を設定 しています。側注に問題解決の過程「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→振り返る→深める」を示し、 生徒が問題解決の進め方を意識しながら、主体的に取り組めるようにしています。	1年 p.149-150、p.181-182 2年 p.27-28、p.151-152 3年 p.33-34、p.149-150、など	
	巻頭の「大切にしたい数学の学び方」では、 授業の各場面での考え方や取り組み方のポイントを整理し、問題解決をよりよく進められるようにしています。 また、各学年の最初の章では、「大切にしたい数学の学び方」に沿った「学び方のページ」を設け、 問題解決型の授業を実現 できます。	1年 p.4-6 2年 p.4-6 3年 p.4-6	
⑥ 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科横断的な視点で育成できるよう、配慮されているか。	実社会や他教科の学習に数学を活用する題材を、現代的な諸課題の視点で選定し、生徒の課題意識を高めるとともに、教科横断的な授業づくりにつながるようにしています。	(環境) 1年 p.156、p.291 2年 p.56、p.191、p.233 3年 p.122-123、p.126、p.210、p.223 (福祉) 1年 p.189 2年 p.94 (防災・安全) 1年 p.28、p.116、p.190、p.288 3年 p.115-116 (伝統・文化の尊重) 1年 p.167、p.186-187 2年 p.90-91、p.175 3年 p.67 (人権・多様性の尊重) 1年 p.63 2年 p.234、p.238	
		教科書全体で現代的な諸課題である「 環境 」「 福祉 」「 防災・安全 」「 伝統・文化の尊重 」「 人権・多様性の尊重 」に関わる題材を 取り上げ、教育を通じて持続可能な社会づくり(ESD、SDGs)を支援 しています。また、数学が社会に活用されている箇所には、MATH CONNECT「 社会とつながる 」のアイコンを示し、 教科書を通して生徒が課題意識を持てるようにしています。	1年 p.62、p.190 2年 p.56、p.157 3年 p.96、p.126 など
		他教科に関連する題材にはQRコンテンツ「 教科リンク 」を付け、 他教科の教科書紙面を閲覧できるようにする など、生徒の学びが他教科にも広がるようにしました。 教科横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントにも役立つようにしています。	

観点	特色	具体例	該当ページ	
⑦ データを用いて問題を解決する力を養うことができるよう配慮されているか。	日常生活や社会の問題をデータを用いて解決する活動を通して、統計的に問題解決する方法を理解し、データの傾向を読み取り批判的に考察し判断する力を養えるようにしています。	⑥ 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科横断的な視点で育成できるよう、配慮されているか。	(数学×仕事) 1年 p.112-113、p.186-187 2年 p.90-91、p.156-157、p.188-189 3年 p.122-123、p.162-163 2年 p.179-192	
		日常生活や社会の問題をデータを用いて解決する活動を通して、統計的に問題解決する方法を理解し、データの傾向を読み取り批判的に考察し判断する力を養えるようにしています。	● 1年7章の「深い学び」では、体育委員会の呼びかけ運動の効果をデータにもとづいて判断する活動に取り組むとともに、「大切にしたい見方・考え方」「数学の目でふり返ろう」で、 目的に応じたデータの整理や問題解決の過程を振り返り、統計的に問題解決する方法(PPDACサイクル)を理解できるようにしています。 ● 「2年7章」では、章全体を通して、生徒に身近なスーパーマーケットのデータ活用に取り組み、その中で「四分位範囲や箱ひげ図」を学習できるよう構成しています。 リアルデータを用いて商品の売れ方を分析し、仕入れを考える「現実の問題解決」を経験できるようにし、PPDACサイクルの理解が深まるようにしています。 ● 「3年8章」では、ウェブサイトの記事をもとに、身のまわりで様々な調査が行われていることを取り上げ、 標本調査の方法や結論について考察するときの考え方など、標本調査を行って判断する一連の活動を経験できるようにしています。	1年 p.237-238、p.254-255 2年 p.179-192 3年 p.211-221
		各学年の「 データの活用 」領域では、 批判的に考察する力が養える よう、1年 p.239-240 では日常生活で使われている代表値について考えたり、2年 p.187 では箱ひげ図の誤った読み取りについて考えたり、3年 p.221 では街頭アンケートやウェブサイト記事の調査方法や結果を吟味したりする学習を設定しています。	1年 p.239-240 2年 p.187 3年 p.221	
		「D マーク(QRコンテンツ)」では、データを処理し多様な統計グラフを作成できる「 Tosho 統計ツール 」や、標本を無作為に抽出して母集団の平均値を求めるシミュレーションを用いてデータの整理が行えるようにし、 データの傾向を読み取り批判的に考察する活動の時間を確保できるようにしています。	1年 p.228、p.234-235 2年 p.186-187 3年 p.217-219 など	

2. 指導上の配慮

観点	特色	具体例	該当ページ
① 個に応じたきめ細やかな指導が行えるよう、配慮されているか。	つまずきへの手立てや問題の補充が行えるようにしたり、章末問題を段階別に設けたりするなど、個人差に対応した指導がしやすい構成にしています。	「問」には、必ず解けるようになってほしい問題に「♡マーク」をつけ、 生徒が目標を持って問題に取り組めるようにしています。 また、「問」「クイックチェック」「基本の問題」「章の問題A」には「 チェックボックス 」を設け、 生徒が自己調整しながら学習できるようにしています。	・♡マーク 数と式領域全体 1年 p.32 など ・チェックボックス 全体
		「章の問題」はA・Bの2段階で構成し、Aは全員で取り組む標準的な問題、Bは生徒が進んで取り組む応用的な問題とし、 習熟度に応じた学習指導に適した構成になっています。	全体 1年 p.60-62 など
		巻末の「学びのベース/学びのマップ」では、 当該学年の土台となる内容をまとめて振り返ることができます。 「たしかめ編」では「まとめ編」で確認した内容を問題形式で確認することができるので、つまずきに対応した細やかな指導を行うことができます。	1年 p.256-262 2年 p.202-213 3年 p.232-245
		巻末の「補充の問題」では、本文の「問」に対応した豊富な問題を用意し、「問」を終えた生徒が進んで取り組むことができるようにしました。「 ★マーク 」のついた やや難易度の高い問題も用意し、習熟度に応じた学習指導に適しています。	1年 p.266-280 2年 p.217-228 3年 p.246-260

検討の観点と内容の特色

2. 指導上の配慮

観点	特色	具体例	該当ページ
②新しい観点別評価への対応など、評価に関する配慮がなされているか。	思考力・判断力・表現力を評価する問題を豊富に用意したり、主体的に学習に取り組む態度の評価に関わる振り返りの機会を内容のまとまりごとに設定したりし、新しい観点別評価に対応できるようにしています。	「チェックボックス」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点ごとにマークを変え、生徒が観点を意識しながら問題に取り組めるようにしています。 「章の問題A」では、すべての章に「ふり返りレポート」を設けています。レポートを通して、「主体的に学習に取り組む態度」の評価が行えるようにしています。 「章の問題B」では、日常生活や他教科の学習など、様々な場面で知識・技能を活用する力を問う「活用問題」を豊富に用意しました(1年13題、2年11題、3年11題)。「事柄や事実」「方法や手順」「理由」を説明する「記述式問題」を取り上げ、「思考力・判断力・表現力」の評価の参考になるようにしています。	全体 (1年 p.60-62 など)
		「学びをふり返ろう」では、内容のまとまりごとに学習を振り返って自分の言葉でまとめる機会を設け、数学のよさを実感し、次の学びに向かう意欲を高めるとともに、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の参考になるようにしています。	1年 p.24、p.39 など
		巻頭の「大切にしたい数学の学び方」では、振り返り(学習感想)の視点を示し、他者の考えと関連づけたり、自分の考えを深めたりする複数の記述例を紹介するなど、振り返り活動の充実を図るとともに、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の参考になるようにしています。	1年 p.4-6 2年 p.4-6 3年 p.4-6
③学校や家庭での学習習慣が身につくよう、配慮されているか。	学び方の参考になる資料や、自学自習に対応できる詳細解答を用意し、学校や家庭での基本的な学習習慣が身につくよう配慮しています。	巻頭の「大切にしたい数学の学び方」では、問題解決の授業の流れに沿って、各場面で大切にしたいことを整理し、後の学習で意識して取り組めるようにしています。	1年 p.4-6 2年 p.4-6 3年 p.4-6
		巻頭の「数学マイノート」では、自分の考えだけでなく、他者の考え、問題解決の過程での気づきや振り返りをかかときの工夫など、基本的なノートの取り方を示しています。また、「例」の解答では、標準的な書き方の例をノート形式で示し、生徒がノートに書くときの見本となるようにしています。	各学年 p.7 (1年 p.38、p.51 など)
		「基本の問題」「章の問題」「学びのベース/学びのマップ」「補充の問題」には、巻末に「解答」を設け、自己評価ができるようにしています。各問題に本文に戻るリンクを示し、理解が不十分な場合、本文に戻って確認できるようにしています。	1年 p.28、p.60-62、 p.293-307 など
		QRコンテンツ「ヒントと解答」では、「クイックチェック」「基本の問題」「章の問題」「学びのベース/学びのマップ」「補充の問題」の解答を表示することができます。また、問題を解くための「ヒント」や「類題」を表示することで粘り強く問題に取り組めるようにしています。	全体
④小学校との連携や高校への接続に関する配慮がなされているか。	小中接続を意識した授業開きの活動の設定や小学校の既習を生かした学習展開の工夫、算数のつまずきへの対応など、小学校との連携に配慮しています。	「1年0章」では、中学校数学の授業開きとして小学校で学習した「かけ算九九表」のきまりを見つける活動を設定し、算数と数学のギャップによる不安を解消し、小中の円滑な接続が図れるようにしています。	1年 p.11-14
		小中の学習内容の系統性を踏まえた指導が行えるよう、小学校での学習を振り返り、育んできた見方・考え方を生かして、中学校の学習にひろげる学習展開を工夫しています。巻末「数学の目でふり返ろう」では、その学年の問題解決で働かせた見方・考え方が、小学校や高等学校などでどのように働かされているかを具体的な例で紹介しています。	1年 p.19-20、p.250-255 など
		算数でのつまずきに対応できるよう、本文に「ちょっと確認(算数)」を設け、学習内容に関連する算数の既習事項を確認したり、1、2年巻末に「学びのベース(算数のまとめ編/たしかめ編)」を設け、定着が不十分な内容を具体的な例で確認・練習できるようにしています。	1年 p.42、p.256-262 など
中学校3年間の総まとめをしたり、高校数学に触れたりするなど、高校への接続に配慮しています。	3年巻末の「学びのマップ」では、中学校3年間の学習を俯瞰して、系統的に振り返ることができます。数学のつながりが実感でき、内容の理解が深まるようにしています。	3年 p.232-239	
	3年の「数学のまど」や巻末「数学の自由研究」では、高校などの先の学習につながる発展的な内容を多く取り上げ、数学のひろがりを実感できるようにしています。	3年 p.61、p.264 など	

観点	特色	具体例	該当ページ
⑤特別支援教育への配慮がなされているか。	読みやすい位置での改行や内容ごとのまとまりを区別しやすくするなど、レイアウトの工夫、改善を行っています。	特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ページにわたって検証を行い、レイアウトの工夫・改善を行っています。 (レイアウトの工夫・改善の例) ●文章は単語の途中で改行せず、文節のまとまりなどの読みやすい位置で改行し、読み取りの段階でのつまずきに配慮しています。 ●「(Q)」の問題を囲んだり、「例」や「問」の範囲が一目でわかるよう罫線をひいたり、「例」と「問」などのアキを1行以上空けたりするなど、内容ごとのまとまりが区別しやすいレイアウトにしています。 ●右ページの外側に「インデックス」を付けて、ページが検索しやすいよう工夫しています。・側注の図表を本文と近づけ、本文との対応がわかりやすくなるようにしたり、表に罫線を入れて対応をわかりやすくしたり、曲線をかくことの困難性に配慮し、点線をなぞってかけるようにしたりするなど、図表の示し方も工夫しています。 ●文字のルビや側注などの小さい文字には、ユニバーサルデザインフォントを使用し、視認性を高めています。	全体
⑥道徳教育・人権教育に関する配慮がなされているか。	説明し伝え合う活動を通して、他者を尊重する態度を育成するとともに、固定的なイメージで性の区別をしないように、話し方や服装に配慮しています。	教科書全体を通して、生徒の個性を尊重する主体的な学習を大切にしています。特に「深い学び」では、問題解決の過程において、他者との学び合いを大切に、互いの考えを認め、協働して取り組む態度が養えるようにしています。 登場するキャラクターの性別を明確にしない、男女の言葉遣いを区別しない、男子はズボン、女子はスカートなど、固定的なイメージで性を区別しないように配慮しました。また、活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しました。	1年 p.57-58、p.83-84 2年 p.27-28、p.49-50 3年 p.33-34、p.63-65 など
⑦GIGAスクール構想への対応について、適切に配慮されているか。	QRコンテンツを活用して、学習内容の理解を促し、図形を動的に捉えるなど効果的な学習指導が行えるよう配慮しています。	「Dマーク」を示した箇所では、紙面右下にある2次元コードからアクセスして利用できるQRコンテンツを用意しています(通信費以外は無料)。教科書と併せて活用することで、学習意欲を高め、理解を深める質の高いコンテンツを用意しました。 (QRコンテンツの点数:合計1752点)動画:73点、シミュレーション:345点、ワークシート:43点、対話シート:36点、フラッシュカード:409点、ヒントと解答:757点、マイ教科書マップ:4点、ちょっと確認:40点、教科リンク:20点、Webサイト:25点	全体
		タブレット端末や電子黒板を操作したり、活用したりしながら学習する場面を設け、ICTの「学び」への活用をサポートしています。	各学年 p.5、p.7 1年 p.159、p.191 2年 p.181、p.232 3年 p.167-169、 p.212-213 など

(2) 教科書の構成上の配慮と工夫



1. 内容の程度

観点	特色	具体例	該当ページ
①本文や問題などの内容や程度は適切か。	易から難へと飛躍がないように展開し、無理なく着実に基礎・基本が身に付きます。	本文では、「問」のうち「かならず解けるようになりたい問題」に「♡マーク」を付け、内容の理解を確実にしてから、そのほかの問題に取り組めるスモールステップの構成にしています。	数と式領域全般 1年 p.16 など
		本文の「問」「基本の問題」「章末問題A」にチェックボックスを設け、内容の理解が十分であるか、生徒自ら確認できるようにしています。	全体
		本文の「クイックチェック」や「基本の問題」、巻末の「補充の問題」では、繰り返し練習に取り組む機会を設け、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるようにしています。	1年 p.32、p.40、 p.226-280 など
②内容の理解を促すための工夫がなされているか。	説明を平易で具体的に、理解を助けるために内容の取扱いを工夫しています。	「Dマーク」を付けた箇所では、図形を動的に観察したり、データを表やグラフに整理したりするなど、学習内容の理解を助けるQRコンテンツを豊富に用意しています。	全体
		巻末の「紙学習具」では、正多面体の模型づくりにおける観察・操作・実験を取り入れ、実感を伴って理解できるようにしています。	1年 p.313-320
		「キャラクターの吹き出し」は、生徒の目線で気づきや考えを引き出すきっかけや、先生の目線で補助発問や注意を示しています。特に、「数学的な見方・考え方」を働かせるきっかけとなる吹き出しには「虫めがねマーク」を示し、学びを深められるようにしています。また、既習と同様に考えることを促す「同じように考えると」や発展的な学習を促す「それなら」を示し、見直しをもって問題解決ができるようにしています。	1年 p.41、p.98、p.100 2年 p.46、p.99、p.187 3年 p.55、p.137、p.172 など

1. 内容の程度

観点	特色	具体例	該当ページ
③ 補充的、発展的な学習に関してどのような配慮がなされているか。	生徒が進んで取り組むためのものとして、補充的、発展的な学習を本文と適切に関連づけて取り上げ、さらに学力向上が図れるようにしています。	巻末に「学びのベース/学びのマップ」「補充の問題」「数学の自由研究」を用意し、 個人差に対応して補充的、発展的な学習が行える ようにしています。	1年 p.256-292 2年 p.202-238 3年 p.232-270
		本文の「問」に対応したQRコンテンツ「フラッシュカード」を用意し、個人差に対応した補充問題に取り組めるようにしています。また、QRコンテンツ「ヒントと解答」を用意し、生徒が 主体的に補充的、発展的な問題に取り組める ようにしています。	全体
		学習指導要領に示されていない内容には「発展マーク」を示し、 生徒の興味・関心に応じて取り上げることができます 。	1年 p.77、p.286、p.291 2年 p.48、p.237 3年 p.61、p.97、p.264、p.265

2. 内容の組織・配列

観点	特色	具体例	該当ページ
① 内容の配列は、系統的、発展的になっているか。	学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や、円滑な指導が行えるよう、内容を配列しています。	1年「素因数分解」は自然数の範囲で考えるため、 負の数 を学習する前の0章で扱い、生徒が混乱しないようにしています。	1年 p.11-18
		3年「多項式の展開」は、一般的な公式をもとに生徒自身が特殊な場合の公式をつくっていく活動を大切に、「因数分解」でも同様に、 一般から特殊の流れで公式を学習 できるようにしています。	3年 p.18-31
		3年「2次方程式の解法」は、一般から特殊の流れを大切に、「平方根の考えによる解法」→「因数分解を利用した解法」の順に構成しています。3章「2次方程式」の直前に2章「平方根」を置き、 学習のつながりを良くし、指導を円滑に進めることができます 。	3年 p.74-82
② 各内容の配列や関連づけは適切か。	単元の学びが連続し、生徒が主体的に取り組めるよう工夫しています。	多くの章で「 単元を貫く題材 」を用い、 学びが連続し、生徒が主体的に解決していく展開を工夫 しています。 (取り組み例) ● 1年1章では、0章の学習を生かして、ひき算の九九表で負の数の必要性を学んだり、かけ算の九九表を負の数にひろげて乗法のきまりを見いだしたりする展開にしています。 ● 1年2章では、本棚を組み立てるのに必要な棒の本数を求める題材で、文字式やその計算を学習する展開にしています。 ● 2年7章では、スーパーマーケットの牛乳の販売数の傾向を分析する題材で、箱ひげ図を用いたデータ活用を学習する展開にしています。 ● 3年3章では、ロープで囲んだときにできる長方形の面積を求める題材で、2次方程式の解き方を学習する展開にしています。	1年 p.19、p.41、p.54 1年 p.63-65、p.75、p.83-84 2年 p.179-192 3年 p.69-71、p.85-86

3. 分量

観点	特色	具体例	該当ページ
① 各内容の分量は適切に配分されているか。	領域ごとの内容の分量配分は適切で、各学年ともバランスが保たれています。	配当時数は、1年129時間(全時数の92%)、2年96時間(全時数の91%)、3年119時間(全時数の85%)とし、 ゆとりを持って指導 できます。特に、 3年は入試指導への対応を考慮 し、内容を精選してゆとりをもたせています。	全体
② 指導時間や生徒の発達段階からみて、全体の分量は適切か。	基礎的・基本的な内容に重点を置き、発展性の少ない内容の取扱いを軽減するなど、 全体の分量を適切 にしています。	全体の分量は、 指導時間や生徒の発達段階に応じて適切な分量 にしています。特に、1年では、正負の数や文字と式、方程式など、 基本的な内容の習得に十分な時間 がかけられるようにし、発展性の少ない内容の取扱いを軽減しています。	全体
③ 練習問題の分量は適切か。	本文の練習問題は、過度な負担がかからないよう適切な分量にとどめ、個人差に対応して本文や巻末、QRコンテンツなどで問題量を補充できる構成にしています。	本文の「問」は、内容の理解の確認・定着を図るのに適切な分量に精選し、「クイックチェック」や巻末「学びのベース」「補充の問題」、QRコンテンツ「フラッシュカード」「ヒントと解答」で 生徒の主体性に合わせて問題量を追加し、個別最適な学びにも対応 できるようにしています。(問題数(3学年合計)は現行比で約120%に増やし、 十分な練習量を確保 しています。詳細は本冊子p.67参照)	全体
		節末「 基本の問題 」は、節の内容の理解の確認・定着を図るのに適切な分量にとどめ、 指導に過度な時間がかからない ようにしています。 章末「 章の問題 」は、A・Bの2段階構成としています。 Aは1単位時間で取り組める程度の分量にとどめ、指導に過度な時間がかからない ようにし、Bは時間配当外として、 生徒の実態に応じて弾力的に扱える ようにしています。	全体
④ 問題解決的な学習や探究的な学習の分量は適切か。	教科書全体で「Q(問題)」を設けています。また、問題発見・解決の過程を重視した「 深い学び 」をほぼ全ての章に設けています。	「Q、①、②、…」は発問を工夫し、 生徒や学級のように合わせて問題解決的に扱える ようにしています。「深い学び」では、Qのほかに、自ら進んで取り組む問題「 深める 」を設定し、問題の条件を変えたり、新しい問題を見いだすことで、さらに考えを深めることができるようにしています。	1年 p.83-84、p.181-182 2年 p.83-84、p.173-174 3年 p.33-34、p.149-150 など

4. 素材

観点	特色	具体例	該当ページ
① 素材は生徒の生活経験や興味・関心などについて配慮されているか。	生徒の生活経験に即した身近な素材を豊富に取り上げ、興味・関心を高めるとともに、 数学の必要性や有用性を実感 できるようにしています。	「章とびら」「節の導入」では、 日常生活と結びついた題材を多く取り上げ 、意欲を持って学習に取り組めるようにしています。	1年 p.91-93、p.103-104 2年 p.35-37、p.139 3年 p.63-65、p.127-129 など
		「数学と身のまわり」「数学と社会」など、 数学とのつながりを「MATH CONNECT」のアイコンで表現 し、「MATH CONNECT」を通して、生徒が 数学に興味・関心を持ち、数学の必要性や有用性を実感 できるようにしています。	全体
② 素材は持続可能な社会を実現する力を育むことができるよう配慮されているか。	現代的な諸課題と関連する素材を取り上げ、諸課題への対応を図ることができるようにしています。	「活用の問題」「数学のまど」「数学×仕事」「数学の自由研究」などでは、 日常生活や社会で数学を活用する題材、他教科の学習で数学を活用する題材を取り上げ 、数学の有用性が実感できるようにしています。	1年 p.62、p.112-113 2年 p.155、p.238 3年 p.114、p.269 など
		章末問題B「 活用の問題 」では、 SDGsに関連する問題を設ける とともに、SDGsの各目標のアイコンを示し、学習内容との対応が分かりやすくなるように配慮しました。	1年 p.156、p.189、p.190 2年 p.56、p.94、p.191 3年 p.126、p.210、p.223
③ 素材は地域的な偏りのないよう配慮されているか。	教科書に掲載する写真やデータは、特定の地域に偏ることのないように選定しています。	素材の選定にあたっては、特定の地域だけに集中することを避け、国内のできるだけ広い範囲から集めています。また、QRコンテンツ「マイ教科書・マップ」では、 都道府県ごとの紙面やデジタルマップを用いて、いろいろな地域の素材を扱える ようにしています。 [1年] 全国の予想最低気温 [p.21]、最低気温の記録:北海道 [p.22]、東京湾アクアライン:川崎市、木更津市 [p.23]、各都市の桜の開花日 [p.24]、身のまわりの正負の数:大阪市、鳥取市 [p.28]、サイクリングコース:印西市 [p.59]、国立国際美術館:大阪市 [p.87]、リニア新幹線のルート:東京都、相模原市 [p.111]、水落遺跡:奈良県 [p.123]、車いすマラソン:大分市 [p.153]、長瀬海岸:広島県 [p.156]、しづめ模様:湯河原市、秋田市 [p.157]、日本の伝統模様:滋賀県、群馬県 [p.167]、博多織:福岡市 [p.186-187]、まちづくり条例:島根県 [p.189]、駅にあるAED:東京都 [p.190]、どちらも同じ形なのかな?:青森県、島根県 [p.191]、身の回りの立体:富山県、北海道、神戸市、高松市、横浜市 [p.192]、江迎千灯籠まつり:長崎県 [p.194]、水戸芸術館タワー:水戸市 [p.196]、和傘:岐阜県 [p.205]、ホエールウォッチング:沖縄県 [p.241]、全国の降水確率 [p.245]、東日本大震災の観測データ:東北地方 [p.288] [2年] 河口湖と富士山:山梨県 [p.85]、カーフェリーとジェットfoil:新潟県 [p.86]、ダイヤグラム:福岡県 [p.89]、弘前公園のソメイヨシノ開花日:青森県 [p.91]、荷物を運ぶドローン:長崎県 [p.94]、牛乳の販売数:北海道 [p.180]、小田原市役所の発電量:小田原市 [p.191] [3年] 金沢駅の鼓門:石川県 [p.67]、世羅高原農場:広島県 [p.91]、ジェットコースター:山梨県 [p.94]、国営みちのく杜の湖畔公園:宮城県 [p.114]、熊野大花火大会:三重県 [p.114]、船の位置を調べよう:広島県、愛媛県 [p.179]、坂本龍馬像:高知県 [p.186]、函館山口ブウェー:北海道 [p.198]、富士山:山梨県、静岡県 [p.203]、飯野山:香川県、筑波山:茨城県、伊吹山:岐阜県、滋賀県、大山:鳥取県、岩手山:岩手県 [p.204]、メガソーラー発電所:長崎県 [p.210]、都道府県ランキング [p.212]、琵琶湖のホンモロコ:滋賀県 [p.223]、わかろ織:千葉県 [p.268]	(本冊子 p.36 参照)

5. 用語・記号・記述

観点	特色	具体例	該当ページ
① 用語・記号の取り上げ方は適切か。	用語・記号は必要なものを適切に用い、必要な箇所内容で内容を明確に表すのに有効に利用しています。	用語・記号は小学校との重複を避け、 概念や内容を明確にしたり、以降の学習に活用したりするものに精選 しています。	全体
		1年「平面図形」では、 図形の移動について考察し表現する上で、必要な用語・記号を取り上げる ことで、用語・記号を具体的な場面と関連づけて理解できるようにしています。	1年 p.160-165
② 記述は正確で理解しやすいものになっているか。	数学的な表現の正確さを保ちながら、生徒の発達段階を考慮し、理解しやすく記述しています。	生徒に誤った理解やあいまいな理解を与えないように、 説明の論理の運び方には、数学的にも心理的にも飛躍のないように しています。	全体
		「 まちがいの例 」は、 誤りであることが明確にわかるように、「まちがいの例」と明記 し、区別できるようにしています。	全体
		「 証明の学習 」では、証明の記述において根拠を明確に示すとともに、定義を「～は～である」という形で明確に述べるなど、 言葉を大切に する観点から記述を丁寧に行っています。	2年 p.128-129、p.141 など
		新出用語にはルビをつけるなど、理解しやすい表記にしています。 本文や「例」は、「だ・である」調を用いて数学的な表現を簡潔・明確に記述し、「Q、①、②、…」や「問」など生徒が取り組む問題は、「です・ます」調を用いて生徒の抵抗感を和らげ、 問題に取り組みやすくなるように しています。	全体
		読点(、)とカンマ(、)の使い分けは、原則として文化庁の「公用文書の要領」に則っています。数学の表記としてカンマである必要があるもののみ、カンマを使用しています。	全体 1年 p.131 など

6. 挿絵・写真・図

観点	特色	具体例	該当ページ
① 挿絵、図表などは適切か	挿絵、図表などの表現や提示のしかたは、生徒の学習に効果的なものとなるよう工夫しています。	「章とびら」では、日常生活や数学の事象を1コマのイラストで提示し、 学習への興味・関心を高める工夫 をしています。	1年 p.91 2年 p.161 3年 p.167 など
		「方程式の文章題」では、問題場面を把握しやすくするよう、 挿絵を効果的に用 いています。	1年 p.106、p.111 など
		「作図や関数のグラフ」は、 教科書紙面にきき込めるように して、指導の効率化を図っています。	1年 p.172、p.176 2年 p.65、p.76 など
		「作図」では、 教科書の紙を折って、垂直二等分線や角の二等分線などの性質の理解を助ける工夫 をしています。	1年 p.175、p.177
		「空間図形」では、学習内容を視覚的に理解できるように、 図版に立体感を持たせる工夫 をしています。	1年 p.193、p.207 など

6. 挿絵・写真・図

観点	特色	具体例	該当ページ
②臨場感のある写真を効果的に使用しているか。	生徒の活動を促す場面では、身近な地域の写真を積極的に用いて、親近感や臨場感を高めるようにしています。	「節の導入」「数学のまど」「数学×仕事」の紙面では、 身の回りの具体物の写真を多く用い 、数学と日常生活を結び付けて捉え、学習への興味・関心を高められるようにしています。	1年 p.28、p.57、p.167、p.186-187 など
		1年「空間図形」では、 身の回りの具体物の写真を多く掲載 し、いろいろな立体や空間図形の位置関係をイメージしやすくしています。	1年 p.192-193、p.194、p.196、p.198 など
		QRコンテンツ「マイ教科書・マップ」では、 都道府県ごとに紙面を切り替えられる など、身近な建物や模様を数学の対象として捉え、学習への興味・関心を高められるようにしています。	1年 p.157、p.192
③説明図は内容の理解を助けるものになっているか。	説明図は、学習内容を視覚的に理解したり、思考や表現の道具として用いたりすることができるように工夫しています。	「割合に関する問題」では、 小学校で学習した数直線図を演算決定の根拠として用いることができる ようにしています。	1年 p.70Q、p.71例5
		「方程式の文章題」では、 線分図や表を用いて、立式における考え方が理解しやすい ようにしています。	1年 p.105-108 など
		「図形の定理」では、枠で囲んだまとめの側注に、 代表としての図を仮定と結論に分けて示し、定理の内容を視覚的に理解できる ようにしています。	2年 p.130-131 など
		「展開や因数分解」や「平方根の計算」では、 面積図を用いて計算方法を考察し表現する活動が行える ようにしています。	3年 p.26、p.57 など
④資料は正確かつ新鮮で、学習に役立つものになっているか。	資料は最新のものを使用し、学習内容と関連のある身近なものを提示しています。	統計資料は 正確かつ最新のものを使用 し、更新された場合には、必要に応じて訂正するようにしています。	全体
		2年7章では、 スーパーマーケットにおける牛乳の販売数の実際のデータ(リアルデータ)を使用 し、現実のデータ活用を体験的に学習できるようにしています。	2年7章

7. すべての生徒が使いやすい紙面への配慮

観点	特色	具体例	該当ページ
①ゆとりのある紙面構成で、文字の大きさや行間などは適切か。	紙面にゆとりを持たせるとともに、文字の大きさ、行間などは読みやすくわかりやすいように配慮しています。	紙面の右側を余白とする「側注形式」をとり、 マーク類や側注を精選し、十分な余白のある学びやすい紙面 にしています。	全体
		「Q、①、②、…」と本文の書体を分けることで、 視認性を高め、読みやすく しています。	全体
		全学年において、多色の使用を避け、 全体の基調を統一することで、学習に集中しやすい紙面づくり を心がけました。	全体
		本文と「例」「問」など、内容間のアキを1行以上空けたり、縦方向に罫線を入れ、 内容ごとのまとまりをわかりやすく しています。	全体
②人権上の配慮がなされているか。	題材の選定や場面の表現においては、専門家による指導のもと、社会的な性差別や人権差別を助長することのないように配慮しています。	登場するキャラクターの性別を明確にしない、男女の言葉遣いを区別しない、男子はズボン、女子はスカートなど、 固定的なイメージで性を区別しないように 配慮しました。	全体
		活動場面では、 男女の比率やそれぞれの役割に偏りのない ように配慮しました。	全体
		問題設定では、統計資料などの必要な場合を除いて、 性別に関する問題を扱うことがない ように配慮しました。	全体
③障がいその他の特性の有無にかかわらず、学びやすいものになっているか。	誰もが学びやすい教科書のユニバーサルデザインを実現するとともに、多様な生徒の特性に対応できる学習者用デジタル教科書等を発行しています。	特別支援教育および色覚特性の専門家による校閲 を受け、全ページにわたって検証を行い、カラーユニバーサルデザインを含む教科書の「ユニバーサルデザイン」を実現しています。	全体
		ルビなどの小さい文字には、 見やすく読みまちがえにくいように開発された書体(ユニバーサルデザインフォント) を採用しています。	全体
		「 学習者用デジタル教科書 」は、文字の色や大きさ・行間の調整、本文の読み上げ、総ルビ・分かち書き表示の機能により、 多様な生徒の特性に対応 できるようにしています。	全体
		様々な特性のある生徒や漢字が苦手な外国籍の生徒に対応できるよう、教科書本文を 総ルビ・分かち書きにしたPDF を、教師用指導書に用意しています。また、指導者用デジタル教科書では、生徒への配付が可能な 翻訳用テキストデータを用意 します。	全体
④SDGsの観点から環境や健康に配慮した適切な用紙を使用し、製本は長期間の使用に耐えられる堅牢さがあるかどうか。	用紙は白色軽量化用紙を使用し、インクは環境やアレルギーなどに配慮したものを使用しています。また、製本は開きやすく、堅牢性、耐久性に優れた方式を採用しています。	用紙は裏抜けがしにくい、丈夫で筆記特性の良い白色軽量化用紙 を使用しており、持ち運びの際の生徒の身体的負担軽減に配慮しています。	全体
		環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、 環境や健康に配慮 しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。	全体
		表紙は耐久性の高い加工を施しています。	全体
		製本は開きやすい「 あじろ綴じ 」の方式を採用し、 紙面を大きく見せ、かき込みをしやすく しています。また、 堅牢性、耐久性に優れた「PUR接着剤 」を採用し、長期間の使用に耐えられるようにしています。	全体

新編 新しい数学 データ集

●基本データ

	1年	2年	3年	合計
ページ数	321	257	289	867
章数	8	7	8	23
QRコンテンツ数	623	503	626	1752

●問題数内訳

★は自ら進んで取り組む問題です。

	小問数				小問数(穴埋めを1問として数えた場合)			
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
Q ①、②、...	255	180	189	624	410	294	363	1067
例	147	55	107	309	147	57	107	311
問	517	261	431	1209	546	310	458	1314
基本の問題	191	88	148	427	206	92	158	456
章の問題A	101	79	114	294	110	88	124	322
章の問題B ★	63	65	86	214	83	71	92	246
クイックチェック ★	53	25	48	126	53	25	48	126
補充の問題 ★	383	227	358	968	400	252	396	1048
学びのベース ★	68	127	111	306	76	162	115	353
数学のまど ★	27	3	16	46	27	3	16	46
数学×仕事 ★	4	8	3	15	4	8	3	15
数学の自由研究 ★	19	20	16	55	19	20	16	55
合計(★を除く)	1211	663	989	2863	1419	841	1210	3470
合計	1828	1138	1627	4593	2081	1382	1896	5359

●QRコンテンツ数内訳

	1年	2年	3年	合計
動画	31	19	23	73
マイ教科書・マップ	2	0	2	4
ワークシート	15	13	15	43
シミュレーション	136	105	104	345
対話シート	13	13	10	36
ちょっと確認	17	11	12	40
フラッシュカード	131	116	162	409
ヒントと解答	262	210	285	757
教科リンク	8	6	6	20
Webサイト	8	10	7	25
合計	623	503	626	1752